

# Theo de Blic 来日

## アクロ界のスーパースター、Theo de Blic 来日決定!



**Theo de Blic プロフィール**

国籍：フランス

1994年生まれ (30歳)



ミニグライダーはテオの真骨頂、BANTAM2の開発にも大いに関わっています。



テオのために開発された、超過激な9.5㎡のアクロパラグライダー-GLITCHが、日本で見られるかも知れません。

12月14日(土)~15日(日)に開催予定の「第2回 スカイフェスタ宇都宮」に合わせ、Theo de Blic (以下テオ)が来日します。海外トップパイロットの来日は、COVID-19以降途切れていましたが、テオのアグレッシブなフライトを見て、彼との交流の場が設けられるのは嬉しいニュースです。

テオは2010年にアクロコンペに参加すると、みるみる頭角を現し、3度のアクロパラグライダーワールドカップチャンピオン(2015年-シンクロ、2017年と2019年)とアクロゲームチャンピオン、エアゲームチャンピオンなど輝かしい成績を残し、FAIアクロランキングでもトップ争いを続けています。

2歳半の時に、インストラクターの父が操縦するタンデムフライトで初フライトを体験しました。はじめてしゃべったセンテンスが、『パパと一緒に飛びに行きたい』だったと言う逸話が残っています。6歳からグラハンを始め、12歳(フランスの法定飛行年齢)の誕生日に初ソロフライト。16歳でプロフェッショナルパイロットになったテオは、スポンサーの協力を得て、アクロのコンペ出場やテストパイロットなどを務めました。17歳の時には、クロカンで100kmのフライトを達成しています。

また、2015年からはトレイルランニングと登山を開始。地元フランスアルプスをはじめ、多くのピークを攻略しました。

2017年からはハイク&フライのレースにも参加し、好成績を収めました。年間飛行時間は平均500時間以上、2019年は700時間だったと言います。

テオの一日は、朝7時に起床、距離20km高低差1000mのトレイルランニングから始まります。その後、天気予報を確認し、アクロにするかクロカンにするかを決め、フライトに向かいます。飛べない日は、マラソンやハイク&フライを複数回繰り返す持久系のトレーニングを実践します。週一でトレイルランニングは休みますが、フライトを休むことはありません。こんな生活をプロフェッショナルパイロットになってから続けていると言います。

2019年末からはNOVAのチームパイロットとしての活動を開始。グライダー開発からテストフライト、さらにブランドアンバサダーとしてNOVAの製品を紹介し、アクロや一般的なパラグライダーのスキルに関する映像(YouTubeで"NOVA" "Theo de Blic"で検索すると視聴可能)も公開しています。

2021年のX-Alpsには、同じNOVAパイロットのNicola Doniniと共にXENONを駆って出場し、若く活気のあるNOVAを印象付けました。



2021年のX-Alpsには、開発に関わったXENONを駆って出場しました。



本人は「僕はまったく才能がない。僕が天才だとか言う人もいるけど、そうじゃないことを自分が一番良く知っている。運動音痴ではないけれど、かと言って特別な才能に恵まれもしなかった、その他大勢の中の一人だよ。パラグライダーをはじめた時、僕の周りにはもっと才能のあるパイロットがゴロゴロいて、未来のチャンピオンだと騒がれていた。でも、いつか努力で才能の欠如を克服できると信じて、他の人が年間200時間トレーニングしている時、僕は400時間やってきた。最初はなかなか結果に反映されずにつかつたけど、最終的には結果に繋がった。努力で才能を超えられることを、誰もがトップに到達できる可能性があることを証明できたことは誇りに思っている。今のポジションにいるのは、運が良かったわけじゃなく、自分の努力の結果。努力が報われるのは、気持ちいいね。」と話しています。

テオは、物静かで常に謙虚で紳士的な姿勢を崩すことはありません。今回の来日で、彼に接し、その人柄を見届けてください。